

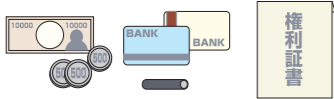
# 防災用具チェックリスト

※何を必要とするかは、家族状況やお住まいの地域によっても異なります。日ごろから家族で話し合しましょう。

## 非常持ち出し品リスト

- ティッシュペーパー
- タオル
- ボンチョ
- 携帯電話の充電器
- 印かん
- 止血するもの
- 懐中電灯
- ライター
- ナイフ
- 下着
- 手袋
- 充電式ラジオ
- 食料
- 飲料水
- ヘルメット
- 乾電池
- 健康保険証コピー
- メガネ、コンタクト用品
- 生理用品
- 現金 など

(停電時に公衆電話で使用する10円、100円硬貨含む)



## 家族のためには

※予備メガネ、補聴器、持病の薬、お薬手帳など、家族に応じた非常持ち出し品を考えましょう。

## 感染症対策

NEW

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・固形石けん
- 除菌シート
- 体温計
- 上履き(スリッパ、靴下など)
- ごみ袋 など

## 乳幼児

- 離乳食、粉ミルク・液体ミルク
- 加熱調理器具
- 消毒用品
- 紙おむつ
- おしりふき など

## 高齢者

- 入れ歯
- 介護食
- 大人用紙おむつ など

## 疾患のある方

- 主治医の連絡先
- 持病薬メモ(処方箋等)
- 持病の薬 など

## ペット

- 動物病院連絡先
- リード
- ケージ
- ペット用食品
- 排泄用品 など

## 枕元には

※夜、地震が起きた場合に備えて用意しておきます。飛び散らないように袋に入れておきましょう。

## 備蓄品リスト

- 食料
- 飲料水(1人1日3リットル)
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 常備薬
- 携帯・簡易トイレ
- 懐中電灯
- 乾電池
- 充電式ラジオ
- ビニール袋
- ラップ
- ティッシュペーパー
- トイレ用ペーパー
- ウェットティッシュ
- ろうそく
- ライター
- 毛布
- 歯磨きシート
- 抗菌・消臭剤
- 救急セット
- 生理用品
- 使い捨てカイロ など

地震などの広域災害の場合、救援物資がすぐ被災地に届くわけではありません。非常持ち出し品、3日分以上(可能な限り1週間分程度)の飲料水と食料、医薬品等を日ごろから準備しておきましょう。

## 車の中や倉庫等には

※バール・ジャッキ・テント・毛布・寝袋・ビニールシートなども車の中や取り出しやすい場所に用意

# 愛知県防災学習システム

愛知県防災学習システムは県民のみなさんがインターネット上で簡単に大地震の際の自宅の模擬映像をみたり、自宅周辺の防災情報等を得たりすることができるシステムです。

<https://www.quake-learning.pref.aichi.jp/>

## こんな事が学べます

### 防災マップ

お住まいの地域周辺の防災マップを見ることが出来ます。

### 建物倒壊シミュレーター

地震が起こったときの、自宅の様子をシミュレーションすることが出来ます。

### 地域防災の広場

地域の防災情報等を、みんなで書き込むことの出来るマップです。

### ビデオ教材

防災に関する各種ビデオコンテンツを閲覧できます。

愛知県と損保ジャパンは、『防災取組に対する地域防災力向上の相互協力協定』を締結し、大規模災害に備える地域防災力の向上を推進し、愛知県内の防災への取組活性化に取り組んでいます。

愛知県防災安全局防災部 防災危機管理課 啓発グループ (取扱代理店)  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL:052-954-6190

〈引受保険会社〉  
損害保険ジャパン株式会社  
名古屋企業営業部金融公務室  
〒460-8551 名古屋市中区丸の内三丁目22番21 損保ジャパン名古屋ビル 4F  
TEL052-953-3894

〈受付時間〉平日午前9時から午後5時まで

〈募集文書作成担当〉  
損害保険ジャパン株式会社 名古屋企業営業部金融公務室  
〒460-8551 名古屋市中区丸の内三丁目22番21 損保ジャパン名古屋ビル4F TEL:052-953-3894

お問い合わせ

# 防災・減災ガイド



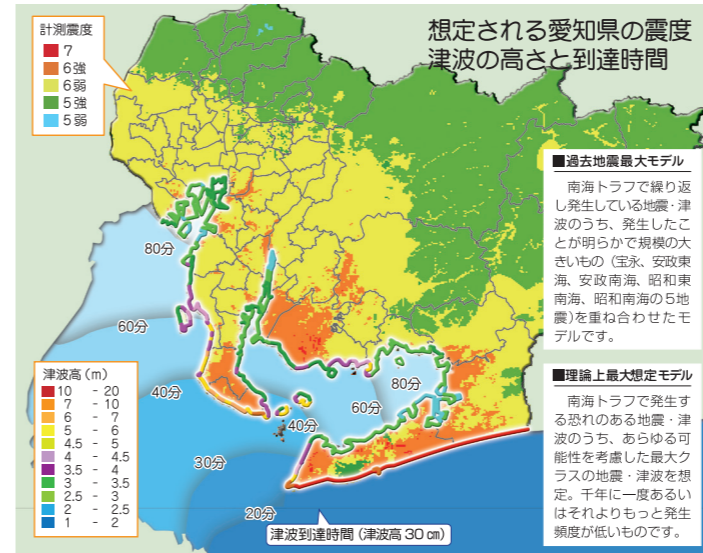
あいち防災キャラクター 防災ナマズン

従来、太平洋沖の海溝型地震は、東海・東南海・南海の各プレートの領域ごとに規模・発生確率が示されてきました。

しかし、東日本大震災の発生後、評価手法の見直しが行われた結果、現在は、南海トラフ全域での規模・発生確率が表示されるようになっていました。その規模はM8~M9クラスで、今後30年以内の発生確率は、70~80%となっています。

## 南海トラフ地震の震度分布

震度：過去地震最大モデル  
津波高：理論上最大想定モデル 津波到達時間：理論上最大想定モデル



(出典)愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果(平成26年(2014)年5月公表)

## 地震の基礎知識

### 大規模地震の今後30年の発生確率について



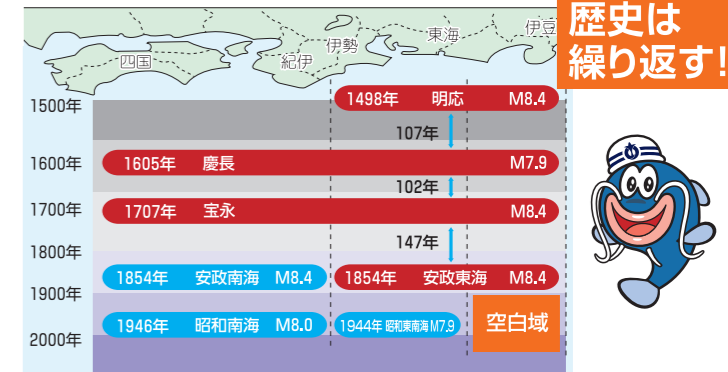
(出典)南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)概要資料地震調査研究推進本部に加筆(平成25年(2013)年5月公表)

## 主な被害想定結果

想定地震の区分	過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル
<全壊棟数>	約94,000棟	約382,000棟
うち揺れによる全壊	約47,000棟	約242,000棟
うち浸水・津波による全壊	約8,400棟	約22,000棟
うち液状化による全壊	約16,000棟	約16,000棟
<人的被害>	約6,400人	約29,000人
うち建物倒壊等による死者	約2,400人	約14,000人
うち浸水・津波による死者	約3,900人	約13,000人

(出典)愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果(平成26年(2014)年5月公表)

## 過去の主な地震



歴史は繰り返す!

「東海」「東南海」「南海」の3地震が連動して起こるおそれのある南海トラフ地震は、この地域に大きな被害をもたらす地震として、これまでに繰り返し発生してきたことが明らかになっている海溝型地震です。過去を振り返ってみると、これまでおよそ100~150年前後の周期で発生しており、昭和東南海地震、昭和南海地震からすでに相当の期間が経過しているため、現時点でその発生の切迫性が非常に高まっている、と考えられています。

(出典)南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)概要資料地震調査研究推進本部に加筆(平成25年(2013)年5月公表)



●**迫り来る地震から命を守るためには、まずは身近なところから備えが重要です。**

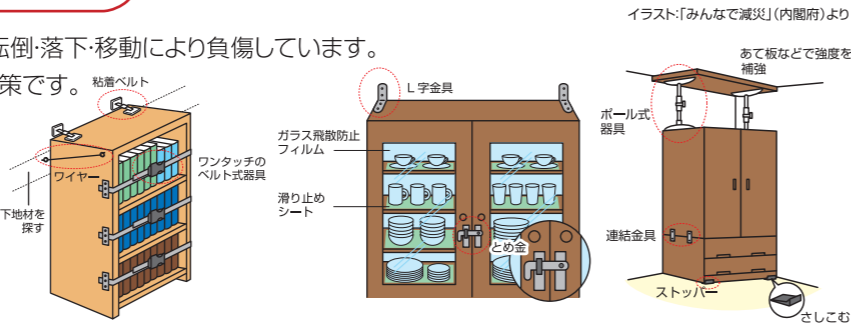
## 家具や書庫等の固定をしましょう!

近年発生した地震では、約30~50%の人が、家具類の転倒・落下・移動により負傷しています。

家具類の転倒防止は、家庭や職場でできる効果の高い対策です。

**南海トラフ地震は明日発生するかもしれません!**

家具の転倒・落下によってケガをしたり、倒れた家具が出入り口をふさいで避難できなくならないように、日頃から家具の固定をしたり、配置を工夫したりして地震に備えましょう。



家具等転倒防止対策に関するご相談は **【愛知県家具固定相談窓口】 052-954-6700 FAX:052-954-6911**  
 (愛知県防災安全局防災部防災危機管理課内) [電話受付 平日9:00~17:15] メール: [bosai@pref.aichi.lg.jp](mailto:bosai@pref.aichi.lg.jp)

## 地震発生後の行動の目安

●**状況に応じ、もっとも人的被害を軽減すると判断される行動を取ることが大切です。**

### 最初の大きな揺れは1分間

#### 自分の身を守る

転倒の恐れのある家具等から離れ、机等の下に身を隠す。  
あわてて外に飛び出さない。



### 地震発生から3日目まで

#### 家族の安全確認、余震に注意

倒壊しかけた家屋に近寄らない。隣近所に声をかけ、状況により、徒歩で避難する。



#### 隣近所で消火・救出・救護

隣近所で協力し、消火、ケガ人の救出・救護にあたる。

#### 自力でのしぐ

備蓄しておいた飲料水、食料等を利用する。デマに注意し、正しい情報をつかむ。

### 地震発生から4日目以降

#### 生活の維持と回復

4日目以降も余震に注意し、情報の収集にあたる。復旧に向け努力する。



### 揺れがおさまったら

#### 出火防止・脱出口確保

ガスの元栓を閉め、コンセントを抜き、電気ブレーカーを落とす。  
火が出たら落ち着いて初期消火。ドア・窓を開けて脱出口を確保する。



## そんなとき どうする?

### 劇場・ホール・デパート・スーパー

●カバンなどで頭を保護し、座席の間を見を隠し、係員の指示を聞く。  
あわてず冷静な行動を。

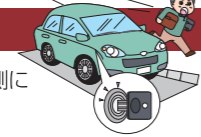


●カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。  
柱や窓ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ちついた行動を。



### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難を。



### 海岸付近

- 揺れを感じたら、ただちに高台などの安全な場所に避難する。  
津波警報や注意報が解除されるまでは海岸に近づかない。



### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス・看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意。
- 近くに空き地などないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。



### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ちついた行動を。



●**地震・噴火・津波を原因とする損害を補償するためには地震保険への加入が必要です。**

## 地震に備える保険

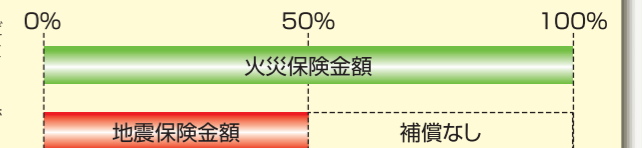
# 地震保険は必要保険です。

火災保険では、地震・噴火またはこれらによる津波(以下「地震等」といいます。)を原因とする損壊・埋没・流失による損害だけでなく、地震等による火災損害や地震等による火災が延焼・拡大したことにより生じた損害についても**補償の対象となりません。**  
これらの損害を補償するには地震保険の加入が必要です。

### 地震保険の基礎知識

- 地震保険は、法律(地震保険に関する法律)に基づいて、政府と民間の損害保険会社が共同で運営している制度で、地震災害による被災者の生活の安定に寄与することを目的としています。  
※地震保険は、民間損害保険会社が契約募集・損害発生時における状況の確認や保険金の支払いなどの業務を行います。大地震発生時には巨額の保険金を支払う必要があるため、保険金の支払責任は政府と民間で負担しています
- 地震等を原因とする火災・損壊・埋没・流出によって損害が生じた場合に最大で火災保険金額の50%まで補償することができます。

### 地震保険金額のイメージ



**大切な家財や自動車にも地震・噴火・津波に備える保険が必要です。**

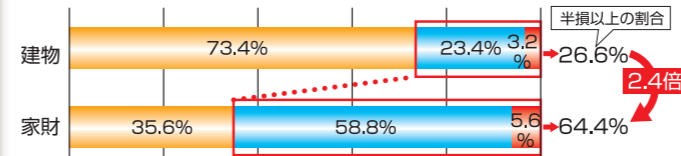
## 熊本地震に学ぶ…「家財」に対する地震保険のおすすめ

地震保険金額は最大で火災保険金額の50%までの設定となるので「建物の地震保険」だけでは、生活再建の費用として足りないこともあります。  
…そこで「**家財の地震保険**」にも加入してしっかり備えましょう。

**ポイント** 昨今、耐震性の高い建物が増えてきていますが、建物に損害が生じなくても家具類の転倒等により家財に大きな損害が発生する割合が高くなっています。

### 2016年 熊本地震における損保ジャパンの地震保険金支払実績(注)

■損害の程度別の支払い件数割合 [黄色:一部損 青:半損 赤:全損]



上記グラフの通り、半損以上の「支払件数」割合は「建物」が26.6%なのに対し、「家財」は64.4%となっており、2.4倍となっています。このことから「建物」よりも「家財」の方が損害の程度が大きくなりやすいということは読み取れます。

(注)2016年7月末時点で地震保険金支払が完了しているご契約についての実績です。  
※2017年1月以降保険始期のご契約では、地震保険の損害の程度は「一部損」「半損」「大半損」「全損」の4区分に変更されています。

### 被災後の当面の生活を支えてくれる地震保険

■地震保険お支払事例  
建物が「一部損」、家財が「大半損」認定となった場合の地震保険支払保険金は以下の通りとなります。

保険の対象	基本保険金額	地震保険金額
建物	2,000万円	1,000万円
家財	1,000万円	500万円

熊本地震の被災者の方からも、「家財の地震保険金」がとて役にたったという声が多く寄せられています!

### 〈地震保険 支払金額〉

保険の対象	地震保険金額	支払割合	支払保険金
建物(一部損)	1,000万円	5%	50万円
家財(大半損)	500万円	60%	300万円
合計 350万円			

家財にも地震保険を加入しておくことで、保険金受取額が大幅アップ。

地震保険は、被災者の生活の安定に寄与することを目的として法律により制定されました。お支払事例のとおり、地震保険だけでは必ずしも元通りに家を再建できませんが、生活再建に大切な役目を果たします。また、地震被害が大きくなりやすい「家財も地震保険に加入しておく」ことで、しっかり準備しておくことができます。

\*日本損害保険協会/パンフレット「備えて安心地震保険の話」、「地震保険の話(家財編)」を参考に作成

**車両保険では、地震・噴火・津波による損害は補償されません!**

**地震・噴火・津波車両全損時一時金特約** を付帯されると、いざというときも安心!!

詳細につきましては、損保ジャパンまでお問い合わせください。

**地震保険のお申し込み** 地震保険だけではご契約できません。火災保険にセットして地震保険をお申し込みください。

●このパンフレットは「地震保険」の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、「ご契約のしおり」をご覧ください。また、ご不明な点は、損保ジャパンまでお問い合わせください。